

合へ、まちづくりに向けて」をテーマに開催された。社会医療法人北斗地域包括ケア推進センター・蘆野センター長(北海道)と、コンフォガーデンクリニック・木下院長(東京都)が座長となり、シンポジウム1「病院と地域がひとつになる」が行われた。その他、在宅医療や地域包括ケアシステム等に関するシンポジウム・一般演題発表が行われた。参加者は約5,100名であった。次回は、来年9月14日(月)～15日(火)に札幌市で開催予定。

## 2. 医師会立看護職員養成校連絡協議会〔7月20日(土)〕について(水谷常任理事)

北海道保健福祉部から看護職員需給推計の策定等の報告の後、当会からは日医医療関係者検討委員会で、現在行われている協議内容について報告を行った。協議では、小樽市医師会看護高等専修学校が実施した、医師会立看護学校入学者・卒業生動向調査報告と、事前に提出を受けた各学校が現在かかえている、「北海道専任教員養成講習会の開催が札幌市のみであるなら、受講経費に対する支援制度の創設を検討して欲しい」等の諸問題について意見交換を行った。

## 3. 日医理事会報告(長瀬会長)

日本医学会役員選挙の件、中医協の件、第16回患者申出療養評価会議の件等の報告と、令和元年度第2回都道府県医師会長協議会開催の件等につき協議した。また事前の理事打合せにおいて、地域医療構想調整会議専門部会の開催経費の予算確保について、生活保護法における被保護者の医療扶助および介護扶助についての意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

## 4. 外部各委員会報告

### (1) 第1回北海道学校保健審議会〔7月17日(水)〕について(長瀬会長)

文部科学大臣表彰の被候補者の選定を行い、

学校保健関係7名(学校医1名、学校歯科医4名、学校薬剤師1名、学校長1名)の推薦を決定した。その後、学校保健関係事業等の北海道の取り組みや感染症の発生状況の説明があったほか、北海道の児童生徒の特徴として、1. 小学生の虫歯が多い、2. 朝食の欠食が多い、3. 肥満児傾向の出現率が高い、4. アレルギーの被患率が増加傾向にあること等が報告された。

### (2) 第5回受動喫煙防止対策専門部会〔7月17日(水)〕について(三戸常任理事)

各論点に関する条例制定の方向性および条例骨子(素案)について協議し、北海道受動喫煙防止条例(仮称)制定に向けた今後のスケジュールの報告があった。

### (3) 第1回学校保健総合支援事業連絡協議会〔7月17日(水)〕について(三戸常任理事)

学校保健総合支援事業の現状と課題について説明があった。その後、学校保健委員会の活性化について協議し、問題点を共有した。

## 5. 中央情勢報告

「厚生労働省の人事等について」(荒木常任理事)

7月16日付けで発令された厚生労働省の幹部人事について、小職より情報提供した。

## 6. その他

### (1) 第2回都道府県医師会長協議会〔9月17日(火)〕の提出議題について(目黒常任理事)

都道府県医師会長協議会への議題提出および期限について確認した。

### (2) 受動喫煙防止対策について(長瀬会長ほか)

道議会新庁舎完全禁煙を要請する記者会見を7月25日(木)に行うこととした旨報告した。また、来年4月を目途に当会館敷地内の全面禁煙実施に向け、検討を進めることとした。

## 北海道医報「会員のひろば」投稿募集

◇情報広報部◇

北海道医報では、「会員のひろば」への投稿を募集しています。記事の内容は自由です。医療情勢、診療で日頃から感じること、趣味・紀行、エッセイ、自己紹介等でも可です。

1. 記事制限：1記事あたり1ページ以内。

2. 文字数：600～1,000字(1段分)または1,600～2,000字程度(2段1ページ分)

※いずれも写真・図含まず。

3. 掲載：掲載可否および掲載号は広報委員会にて決定します。

4. 原稿送付先：ihou@m.douji.jp

5. 問い合わせ先：011-231-7661(情報広報部)